



ほり ぐち じゅん や  
**堀 口 順 也**

こうめいとう きいんだん  
**公明党議員団**

### 三重短期大学の活用について

**問** 三重短期大学は、戦災を被った津市が、「市の復興はまず学校から」という方針のもと、昭和27年4月に開学したものである。そこで学ぶ学生が中心となって、平和に向けて核廃絶の取り組みを。

日中政府間の関係が非常に難しい局面にある現在、市民レベルでの交流が大事になってきている。友好都市の鎮江市にある江蘇大学との交流を。

**答** 三重短期大学では、教育理念の中で、人類普遍の真理と真実を追究し、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを掲げており、日本国憲法や国際関係論、環境に関する科目等において、学生自身が平和や核の問題などについて考える機会を提供している。また、学生の自主的な取り組みとして、憲法第9条や平和について考える活動も行われており、これらを通じて教育目標も達成できるものと考えている。

また、江蘇大学との交流は、すでに三重大学が協定を締結し、学生・教員の交流を行っているが、大学の規模等を考えると、直ちに同様の交流は難しいことから、まずは学生間の交流ができるよう、国際交流の担当部署と協議し検討していきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 非核・平和都市としての取り組みは
- 友好都市について
- 避難情報が確認できる津市公式アプリケーション「津うなび」の活用推進を
- 災害時の避難所等におけるトイレ対策の現状は
- 聴覚障がい者にも災害の発生が一目でわかる「赤色回転灯」を公共施設に設置を



▲災害時の避難情報が確認できる「津うなび」の活用推進を



おの の ひろし  
**大 野 寛**

しん わ かい  
**津 和 会**

### 津市の危険河川に観測所の設置を

**問** 台風第11号から得られた教訓が多くあると思うが、避難勧告や避難指示を出すためには、河川であれば雨量や水位など、一定の判断基準が必要である。

一級河川には、それぞれ水位の観測所が設置されていると思うが、他の危険箇所にも雨量計や水位計を設置し、夜間などに人が見に行かなくてもいいよう、情報を一括管理できるような体制がとれないのか。

**答** 現在、雲出川など9河川で、水位設定がされており、水位観測所が11カ所設置されている。

一方、支流など水位設定されていない河川もあり、各部や総合支所では、地元自治会等からの情報をもとに危険と判断した場合は災害対策本部長へ意見具申を行う体制を取っている。

特に総合支所長は、避難勧告等が必要な河川の選び出しや危険水位等について、事前に自治会等と協議することが大切であり、河川巡視のマニュアル等を作成した上で情報を伝達し、避難勧告等の判断ができるようにしていきたい。

また、国においては監視カメラを設置しており、県にも要望しているが、市管理の河川については、何が一番いいのか検討していきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 平成25年第4回定例会提出報告議案、報告第23号～29号に係る変更（労務単価）について
- ・工事請負契約の一部の変更に係る契約金額の支払い及び契約検証について
- バイオマス産業都市構想について
- ・プロジェクトの概要について
- ・都市構築に向けた今後の取り組み計画と現況について など



▲市内の全河川に観測所の設置を（雲出川の観測所）